

HARUYAMA REPORT

株式会社はるやまホールディングス

第50期 中間報告書

2023年4月1日から2023年9月30日まで

HARUYAMA Eco Project

服でつながるサステナブル



Top Message



おしゃれで健康な
生活提案で、
地域の人々を笑顔に

代表取締役社長
中村 宏明

第50期第2四半期連結累計期間の業績について

当第2四半期連結累計期間は、雇用・所得環境が改善するもとで引き続き緩やかな回復基調がみられたものの、地政学リスクの長期化や為替の変動に起因する資源価格の高騰を受け、先行き不透明な状況が続いております。衣料品小売業界におきましては、物価上昇による先行き不安から、依然として厳しい経営環境のまま推移しました。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、前期に引き続き「健康」をキーワードに差別化戦略を推進してまいりました。

商品面では、当社の得意とするニット素材を活かしたスーツシリーズ「アイスーツ」から、秋冬シーズンの新作としてベスト付きのスリーピーススーツを発売し、快適なストレッチ生地に加え、素材の一部にリサイクルポリエステルを採用するなど、環境にも配慮した商品開発を行ってまいりました。また、働く女性を応援する商品として「動ラク肩ラクスーツ」を発売しました。この商品は日々のワークシーンを快適に、「ラク」に過ごして欲しいという思いを込

めて開発した商品です。

当社グループでは今後も、お客様のニーズに沿った商品開発などを通じて、顧客満足度の向上を目指してまいります。

店舗数に関しましては、グループ全体で5店舗新規出店及び7店舗閉店（うち3店舗移転）した結果、当第2四半期連結会計期間末の総店舗数は376店舗となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間におきましては、売上高141億7千8百万円（前年同期比3.3%減）となりました。利益面は、営業損失8億5千9百万円（前年同期は営業損失11億1千7百万円）、経常損失6億9千2百万円（前年同期は経常損失9億1千6百万円）の結果となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純損失は、主にソフトウェア資産等の除却による固定資産除売却損の計上が4億7千5百万円あったこと、法人税等調整額の計上が2億8百万円あったこと等により、14億4千3百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失12億9百万円）の結果となりました。

今期の見通しについて

今期の見通しといたしましては、雇用情勢や所得環境の改善により引き続き緩やかな回復が期待されるものの、物価の上昇や世界的な金融引き締め等の影響が懸念され、予断を許さない状況が続くものと予想されます。

こうしたなか当社グループでは、「地域に必要とされる店」を目指し、既存店舗の活性化を推進するとともに、システムの再構築とECサイトの充実などへの積極投資を通じて、経営基盤の整備と強化に努めてまいります。

みなさまにおかれましては、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

CONSOLIDATED FINANCIAL HIGHLIGHTS

連結業績ハイライト

■第2四半期連結累計期間 ■当期



TOPICS トピックス

01 服でつながるサステナブル
本格始動

当社は、「お客様第一主義」を経営理念として、「地域に必要とされる店」になるため、当社のホームページにESGを重視した経営の取り組みを紹介するページを開いたしました。内容の一例として、不要になった衣類をお客様からお預かりし、リユースやリサイクルにつなげることで、消費者と企業が一体となり、捨てられる衣類を減らす循環型社会の取り組みに積極的に参加しております。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

02 サステナブル・
ストレッチ素材スーツの
秋冬新品を発売

REDA社の素材を採用した、メンズスーツ、レディースセットアップの秋冬新品の発売を8月末より開始しました。

生地は有害な化学物質を含まない原材料を使用したサステナブル・ストレッチ素材「REDA FLEXO」を採用し、着用時の快適性を実現しながらサステナブルを重視して仕上げたスーツです。また、袖裏にキュプラ素材を使用することで袖通しが滑らかになり、デザインだけでなく着心地も本格志向の一着となっております。

03 「はるやま」に
越境ECサービスを導入

「P.S.FA」と「フォーエル」にて先行採用している「WorldShopping BIZ」を7月より当社基幹ブランドの「はるやま」にも導入し、越境ECへの対応規模を大幅に拡大いたしました。

このサービスは、多言語対応、海外決済、海外配送までを一気通貫で提供するサービスで、特別な開発や運営オペレーションの変更を一切伴わず、世界228の国と地域に向けての海外販売対応が可能になりました。今後は、日本だけにとどまらない自社のオンラインショップにおける顧客の拡大を目指してまいります。



CORPORATE DATA / STOCK INFORMATION

会社情報 / 株式情報

(2023年9月30日現在)

■ 会社の概要

商号	株式会社はるやまホールディングス		
設立	1974年11月6日		
資本金	39億9,136万8,000円		
本社	岡山市北区表町一丁目2番3号		
主な事業内容	グループ戦略立案及び各事業会社の統括管理及び不動産賃貸借		
役員	取締役 会長	治山正史	
	代表取締役 社長	中村宏明	
	取締役	清水夏子	
	取締役	井上重光	
	取締役	中川雅文	
	常勤監査役	澤味聡嗣	
	監査役	光岡敬一	
	監査役	櫻田憲司	
主な子会社 (※は非連結)	はるやま商事株式会社 株式会社モリワン 株式会社ミック 株式会社マンチェス 田原コンサルト株式会社※		
従業員数	連結 1,187名	単体 18名	

■ 株式情報

発行可能株式総数	55,000,000株
発行済株式の総数	16,485,078株 (うち自己株式 128,234株)
株主数	30,898名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社はるか	1,810,000	11.06
治山正史	1,526,446	9.33
治山邦雄	1,498,722	9.16
有限会社岩淵コーポレーション	1,324,500	8.09
株式会社四国銀行	765,840	4.68
治山公子	720,082	4.40
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	477,100	2.91
はるやま社員持株会	415,859	2.54
治山美智子	358,892	2.19
岩淵典子	349,900	2.13

(注)持株比率は自己株式を控除して計算しております。

■ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中
配当金受領株主確定日	期末配当 毎年3月31日 中間配当 実施する場合は、毎年9月30日
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	株式会社東京証券取引所(スタンダード市場)
単元株式数	100株
公告方法	電子公告とします。 公告掲載アドレス http://www.haruyama.co.jp/ 但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関にお問い合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主総会資料の電子提供制度に関するご案内

改正会社法により、株主総会資料の電子提供制度が開始され、2023年3月1日以降に開催される株主総会にかかる株主総会資料につきましては、当社からご案内するウェブサイト上でご覧いただくことを原則とし、例外として、所定の方法によりあらかじめお申出(書面交付請求)をいただいた株主さまに限り、書面でお送りすることとなりました。詳しくは以下へお問い合わせください。

(電子提供制度専用ダイヤル) 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL 0120-696-505(通話料無料)

株主優待制度

100株以上ご所有の方へ

15%割引券

ネクタイ または ワイシャツ
ブラウス

贈呈券 1枚進呈!

●所有株数に応じて15%割引券進呈!

100株～ 499株	2枚
500株～ 999株	4枚
1,000株～ 2,999株	6枚
3,000株～	10枚

(注)贈呈券は税込6,600円以下の商品が対象となります。なお、税込6,600円を上回る商品には、差額をお支払いいただきます。

※毎年3月31日時点の株主さまに6月末頃発送いたします。